



たきばな

一般社団法人
日本ボーイスカウト
静岡県連盟

〒420-0068
静岡市葵区田町1丁目70-1
(静岡県青少年会館内)



各種表彰を受章された皆様

平成29年度 静岡県連盟定時総会・表彰式開催

CONTENTS

静岡県連盟定時総会・表彰式開催	2	ボーイ通信	9
平成29年度 静岡県連盟役員名簿	4	ベンチャー／ローバー通信	10
平成29年度 組織拡充大会 開催	5	指導者だより	11
新理事長 挨拶	6	友情章 おめでとう42名の仲間	13
WB研修所・課程別研修が開催	7	マスコミコーナー	14
いつも元気だっ!ビーバーだより	8	お知らせコーナー	16
カブつうしん	9		

平成 29 年 7 月
第 148 号

静岡県連盟定時総会・表彰式開催

日時：6月4日(日) 会場：静岡市東部勤労者福祉センター(清水テルサ)



6月4日(日)、静岡市東部勤労者福祉センター(清水テルサ)において、ボーイスカウト静岡県連盟平成29年度定時総会及び表彰式が開催されました。

表彰式では、富士章受章スカウト顕彰、日本連盟の功労章(たか章・かっこう章)受章者の紹介、県連盟褒章・感謝章・感謝状の表彰が行われました。

定時総会では、川勝平太連盟長の「静岡県連盟は、平成33年に記念すべき創立百周年の節目を迎える。この大きな節目に向け、活動的で自立したスカウトを育てるため『地域社会の発展に貢献

するスカウト運動の推進』のスローガンのもと、一丸となって歩を進めて行こう。」とのメッセージが村松副理事長より披露されました。続いて、塩谷立衆議院議員(副連盟長)及び木苗直秀静岡県教育委員会教育長からスカウト活動への激励と期待のご祝辞を頂きました。

議案審議は、戸田正明理事が議長に指名され、右記の議案についての審議が行われ、承認されました。第3号議案承認後に開催された臨時理事会で村松武博新理事長が選出され、総会で報告されました。



出席者全員で“おきての唱和”



日本連盟表彰(たか章)受章者



富士章受章スカウト

＝ 県連盟 年度事業方針 ＝

◆スローガン

地域社会の発展に貢献する
スカウト運動の推進

◆重点目標

1. 節度ある行動と実践

おきてを忠実に実践しよう

2. 未来を担う指導者の育成

ユース年代の活動に支援しよう

3. スカウト運動の認知度を高めよう

スカウティングの楽しさを広めよう

平成29年度 議案

第1号議案

平成28年度 事業報告及び承認を求める件

第2号議案

平成28年度 収支決算報告及び承認を求める件

第3号議案

平成29年度 理事及び監事の選任に関する件

第4号議案

平成29年度 事業計画案及び承認を求める件

第5号議案

平成29年度 収支予算案及び承認を求める件

報告事項

1. 名誉役員及び県連役員の紹介
2. 各種委員会の委員長及び委員の紹介
3. 第2回東海4県連盟合同野営大会について
4. 第12回アグーナリーについて



平成29年度 静岡県連盟役員

No.	役職	氏名	備考(担当、地区等)
1	連盟長	川勝平太	
2	副連盟長	塩谷立	
3	副連盟長	渡辺周	
4	副連盟長	土山和雅	
5	理事長	村松武博	
6	副理事長	花畑金亨	
7	副理事長	脇坂茂	(兼)財務委員会委員長
8	業務執行理事	小林透	県連盟コミッショナー(兼)名誉会議議長
9	業務執行理事	瀧島三郎	事務局長
10	業務執行理事	松永伸弥	指導者養成委員会委員長
11	業務執行理事	川島一郎	進歩・国際委員会委員長
12	業務執行理事	西村清矢	野営・行事委員会委員長
13	業務執行理事	脇坂英子	セーフフロムハーム・安全委員会委員長
14	業務執行理事	土山唯之	組織拡充・広報委員会委員長
15	業務執行理事	松田茂	総務委員会委員長
16	理事	松下喜彦	(学識経験者理事)
17	理事	戸田正明	(学識経験者理事)
18	監事	兼子孝宏	
19	監事	仲田始	
20	地区代表理事	森田文明	伊東地区
21	地区代表理事	藤田和夫	三島地区
22	地区代表理事	田村照児	沼駿地区
23	地区代表理事	藤曲敏春	御殿場・小山地区
24	地区代表理事	鈴木木隆春	富士地区
25	地区代表理事	三浦祥司	富士宮地区
26	地区代表理事	畠山幸喜	清水地区
27	地区代表理事	北村誠	静岡地区
28	地区代表理事	川村進	志太地区
29	地区代表理事	鈴木木隆春	島田地区
30	地区代表理事	村松清一	掛川・袋井地区
31	地区代表理事	鈴木木均	磐田地区
32	地区代表理事	渋谷茂光	浜松地区
33	地区代表理事	佐藤誠	浜松東地区
34	地区代表理事	岡田浩一	浜北・天竜地区
35	県連盟副コミッショナー	加藤藤公洋	
36	県連盟副コミッショナー	丸山浩孝	
37	県連盟副コミッショナー	川村悦子	
38	県連盟副コミッショナー	岡村資和	
39	県連盟副コミッショナー	宮崎賞人	
40	県連盟副コミッショナー	大澤晶	
41	名誉会議議員	佐藤清子	沼駿地区
42	名誉会議議員	野中仁	富士宮地区
43	名誉会議議員	鈴木木邦男	志太地区
44	名誉会議議員	柴田伸二	島田地区
45	名誉会議議員	牧野勲夫	掛川・袋井地区
46	名誉会議議員	松田怡男	浜松東地区

平成29年度 組織拡充大会 開催

今年度も、県連定時総会に先立ち「組織拡充大会」が開催され、65名が参加しました。



地区一番団顕彰

各地区で特徴のある活動を展開する団を顕彰しました。

- 伊東地区…………… 該当なし
- 三島地区…………… 大仁第1団
- 沼駿地区…………… 沼津第1団
- 御殿場・小山地区…………… 御殿場第2団
- 富士地区…………… 富士第2団
- 富士宮地区…………… 富士宮第9団
- 清水地区…………… 清水第19団
- 静岡地区…………… 静岡第26団

- 志太地区…………… 藤枝第7団
- 島田地区…………… 吉田第2団
- 掛川・袋井地区…………… 該当なし
- 磐田地区…………… 磐田第3団
- 浜松地区…………… 浜松第14団
- 浜松東地区…………… 浜松第24団
- 浜北・天竜地区…………… 該当なし

ユニクロ難民支援衣料回収プロジェクト

定時総会に合わせ、各地区に衣料回収を依頼した結果2,605着の古着が集まりました。

各地区から、回収取り組みの報告が行われ、代表スカウトが回収した古着を村松副理事長に引き渡しました。古着は、村松副理事長と代表スカウトにより、清水地区のユニクロに運ばれ、店長にお渡ししました。



真争 店員 兼介 厚帆

平成29年(2017年)6月6日(火曜日) 県内総合



坂本友明店長(左端)に衣類を手渡すボーイスカウト代表者(4日、静岡市清水区)

集めた衣類で難民支援

B S 県連盟 静岡で寄贈

日本ボーイスカウト県連盟は4日、ボーイスカウト日本連盟とユニクロが提携して行っている「難民支援衣料回収プロジェクト」で、団員が集めた衣類を静岡市清水区のユニクロ エスバルスドリームプラザ店に届けた。

県内15地区の団員が集めた衣類は約2600点。このうち静岡、清水、富士の各地区で回収した約400点を届けている。

同店の坂本友明店長に手渡した。県連盟の村松武博理事長は「自分の活動が世界のどこかで役に立っているという意識を団員に持つてほしい」と話した。

ボーイスカウト日本連盟では2016年から、年に2回衣類を回収し、ユニクロと国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) を通じて世界の難民に衣類を届けている。



村松 武博

ボーイスカウト静岡県連盟理事長 就任に当たって

成人指導者の皆様へ

皆様の日ごろのスカウト運動へのご奉仕に対し、心から敬意を表し、感謝いたします。

まず、先日の日本連盟の全国大会での奥島理事長のことばをお伝えしたいと思います。

開会のあいさつで登壇した奥島理事長は、「これは非常事態宣言である」と前置きして、

「班が消える、隊が消える、県連盟消失もあり得る。

乗り越える方策を確立したい。

受験や部活などの要素に押され、スカウト運動に魅力がない。

行動が室内化し、汗と涙が見られず、理論家が育ってしまう。

ボーイスカウトは運動であり、学問ではない。

大学生を先頭に立てるなど、指導者の若返りが必要である。

新しい広報のやり方を考える。

生き残りではなく、新しいボーイスカウトを作る。」

と発言されました。

これは、全国の、もちろん静岡県のボーイスカウトにも向けられた言葉です。

このようなことを念頭に静岡県連盟は、総会でご承認いただいた方針に基づいて事業を進めてまいります。

さらに県連盟としては、

グリーンバンク、小さな親切運動など他団体との協調・連携

政界、経済界、行政との関係強化

日本連盟の維持会員、県連盟の賛助会員、緑の募金などによる財政の強化

静岡県連盟 100 周年への準備

にも取り組んでいきます。

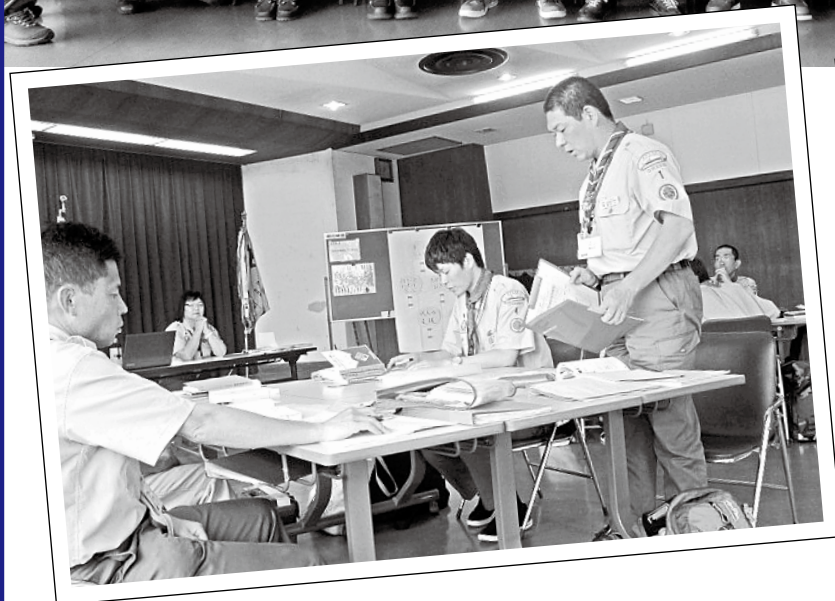
そして、スカウトはもちろん、指導者にも、保護者の方々にも、楽しいと思っただけのスカウト運動の推進に向け努力してまいります。

理事長という責任をひしひしと感じながら、皆様のご協力を得てこの職を楽しいものにするのもスカウティングだと思っています。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

「WB研修所・課程別研修」が開催 おつかれさまでした!

平成29年5月21日(日) 静岡県青少年会館



「参加者が当該部門の隊長としての責務を果たすことが出来るように、隊運営に関する基礎的な方法を習得すること」を目的に、課程別研修が行われました。

研修には、

- BVS課程 静岡第2回 5名
- C S課程 静岡第2回 9名
- B S課程 静岡第2回 10名
- V S課程 静岡第1回 4名

《合計28名が参加しました。》



いつも元気だっ!
ビーバーだより

スカイウォークに行ったよ!

三島地区 函南第2団 ビーバー隊 露木 翔太

ぼくは、スカイウォークまでのハイキングにかぞくみんなでさんかしました。

じぶんできっぷをかってでんしゃにのってワクワクしたよ。たまちえきについたら、みしまたいしゃまであるいて、ぶじにつきますように!っておねがいしました。またそこからたくさんあるきました。とちゅうに、おおきないしがあって、さわったらつめたくてきもちよかったよ。おじぞうさんもいたよ、そこでみんなでおにぎりをたべたらおいしかったです。

スカイウォークまですごくとおくて、あしがいたくなかったよ、でも、おとうさんとおねえちゃんやみんながおうえんしてくれたからがんばれました。

ついたら、おおきなつりばしがあってドキドキしてすこしこわかったです。おおいでるペンギンがかわいかったよ、ふじさんもきれいでした。かえりのつりばしはこわくなくなっていたのしかったです。

かえりのバスはいもうとといっしょにすわってたのしいはなしをしてふたりでわらったよ。またみんなでいきたいな。



たのしかったほうとうかい

富士宮地区 富士宮第21団 ビーバー隊 山田ふたば

ボーイスカウトで、ほうとうかいをしました。おしえてもらって、ながいぼうできじをのばして、ほうちょうでできました。おおきいおなべでゆでて、たべました。おにいさん、おねえさんたちと、たいちょうさんがきった、おやさいが、いっぱいはいっていました。きらいなねぎとしいたけがはいっていたけど、がんばってたべました。

おともだちは、たくさんおかわりしてました。おいしかったです。おなかいっぱいになりました。



川原で野外料理

浜松東地区 浜松第11団 ビーバー隊 平田 直暉

5月21日、あたご川でカレーを作りました。

やさいのかわをむいて、ほごしゃの人たちに手つだってもらいながら小さく切りました。大きいなべで、コトコトにこんでみんなでたべました。とてもおいしかったので、早くたべて、1はいおかわりしました。

つぎにはなはかおるよをみんなであうたいました。そして水きりをやりました。

とてもたのしい一日でした。



だんぼーるめいろ

浜松東地区 浜松第30団 ビーバー隊 大北 晋作

ぼくはだんぼーるめいろがたのしかったです。だんぼーるをくみたてたのがたのしかったです。がむてーぶをつかったのがおもしろかったです。めいろをしたのもたのしかったです。すぐにおおきくてひろかったので、びっくりしました。

だんぼーるは、おおきいのとちいさいのがありました。それでめいろをつくったのがたのしかったです。ぼくはつくるのをてつだいました。つくったばしょは、おとながはいれないばしょをぜんかしよてつだいました。あそぶときにいきどまりをくぐりました。さいごはくずしてもちかえりました。



スカウトたのしい

浜松東地区 浜松第6団 ビーバー隊 橋本 尚輝

いつもたのしいスカウト。いろんなことをたくさんやっています。いちばんたのしかったことは、ザリガニつりです。あまりうごかさないうようにするとうまくつれるんだけど、なかなかつかれません。





樵の木を切り倒しました

浜松地区 湖西第 2 団 カブ隊 幸田 匠

カブとボーイで 3 年前に一抱え半・高さ 2 3 メートルの樵の木を切り倒しました。受けの切り取りや、背の切り込みも、チェーンソーを一人ずつ使って体験し、隊長が準備した滑車一組・チェンブロック 4 台・ワイヤー数本を組み合わせてセットして準備されていました。それぞれの配置された部署について、隊長の合図どおりに最初はゆっくり、倒れ出したら手早く引いて行きました。電線にも当たらずに思った所に地響きを立てて倒れました。三脚を使って移動したり、枝打ちをしたりして整理し、シイタケの木に電気ドリルで穴をあけ菌をみんなして打ち込んだ。

その樵の木から今年シイタケが沢山出たので、「シイタケ狩り」を父兄と一緒に小バケツに三杯も採り、分け合ってお土産に持ち帰りました。



高草山ハイキング

志太地区 焼津第 1 団 カブ隊 見崎はるな

今日は、三組のみんなでデンリーダーや隊長と一緒に、高草山のふえふきだん公園まで登りました。

途中にカブ隊の他の組をぬかしながら登りました。さらにみんなで「ビーバー隊もぬかしてやるぞ」と言って、隊長にぬかしてもいいか聞きました。そうしたら、先頭の隊長をぬかした人は一発ギャグを言うことになって、おもしろかったです。登っている途中にきいちごがありました。きいちごを一人できがしている時、仲間がたくさん手伝ってくれて、十五個も集まってうれしかったです。それを家に持ち帰ってジャムを作りました。こげそうになったけど、水を加えたら甘ずっぱくて、とってもおいしいジャムになりました。

私は今年で最後のカブ隊なので、一つ一つの活動を大切に、いい思い出にしていきたいです。



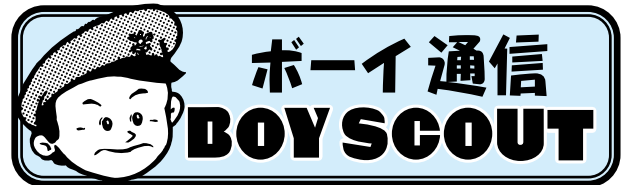
新しい組でのハイキング

富士地区 富士第 6 団 カブ隊 金子 侑叶

ボーイスカウトで、4 月に新しい組になってから初めてのハイキングを行いました。

新しい組では、自分以外はうさぎスカウトばかりなので、自分が組長となって歩きました。ハイキングの途中では、隊長からロープ結びと長さの測り方について教えてもらいました。隊長から橋の長さを測るように言われ、みんな思い思いのやり方で測りました。

ハイキングの最後の方では足が疲れてきましたが、うさぎスカウトに負けるわけにはいかないので、平気な顔をして歩きました。しかし、ハイキングの最後に公園があり、隊長が組でまとまって遊ぶことの一言で、いままでの疲れも忘れてみんなと走り回りました。新しい組でのハイキング、とても楽しかったです。



ソロキャンプを体験して

静岡地区 静岡第 27 団 ボーイ隊 宇佐美雄太

僕は 1 級スカウトに昇格するためのソロキャンプに行きました。ソロキャンプでは、サイトの設営、食事の調理などを全て自分でやらなければいけません。まだボーイ隊に入ったばかりだった頃はなにかと先輩や班長に頼ってしまうことがありました。そしてボーイ隊に入って 3 年の月日が過ぎ、僕は班長となり、下級生をまとめる立場になりました。今回のキャンプでは、僕の今まで積み重ねてきたスカウト技能をもう一度確かめる目的もありました。

キャンプの計画においては、キャンプ地のサイト図や食事のメニューなどを一から自分で決めて、いかに簡単に速く正確に行動できるかを考えました。

そしてソロキャンプ当日、計画していた時間通りに設営が進み、食事もおいしく出来、予定していた時間よりも早く終わらせることができました。そして、空いた時間で自分の自由時間も作ることができ



ました。これからも次の進級科目の菊章をとれるようにがんばります。また、下級生のみんなから慕われる班長であり手本となる先輩スカウトになるように努めていきたいです。

今年度最初の隊集会

静岡地区 静岡第22団 ポーイ隊 大場 皐太郎

月の輪スカウトが入隊してから最初の隊集会がありました。今回の活動は「ハイキング」、テーマは「仲間意識」です。

駿府公園に集合、セレモニーの後隊長からミッションを渡されました。[葵タワーの高さを計測せよ] 僕達はスカウトハンドブックに5円玉をぶら下げてあり、それと渡された地図から計測しました。

ハイキング中にはいくつかの関門があります。三角方を使って距離を出したり、スカウトペースで移動するなどの技能を盛り込んだハイキングでした。

班集会ではあまり人数が集まらず、特に新入スカウトが全員居なかったので心配でした。でも、休んだスカウトはやり方などをそれぞれで調べてきてくれて、活動はスムーズにできました。ミッションの

答えは間違っているけど、最初の活動で団結する事ができました。

この隊集会で僕達のオオカミ班が優秀班になりました。これからもたくさんのお褒め状をゲットして、団結力のある班にしていきたいです。



魚を釣ったよ

磐田地区 磐田第7団 ポーイ隊 矢野 杏華

私はボーイスカウトで初めて魚釣りに行きました。行くときは少し不安だったけど何匹釣れるのか楽しみでした。初めてだったから準備を手伝ってもらいました。

1匹目の魚が釣れた時はとてもうれしかったです。そこからもっとたくさん魚が釣れないかなと思いました。そして、たくさん釣れたのでポーイ隊の中で一位になり、賞品の釣りサオセットをもらえてとてもうれしかったです。だけどビーバー隊の子に負けてしまったからとてもやさしかったので、次回はもっとがんばって団の中で総合1位になりたいです。

お昼は皆が釣ったアジのからあげでした。隊長たちがさばく手つきがとても早くて、私も魚をさばけるようになりたいと思いました。あげた魚はとてもサクッとしていて美味しかったです。賞品でもらったサオを使って早く釣りをしてみたいです。



夏のおいがした一日

御殿場・小山地区 御殿場第5団 ポーイ隊 小林 涼子・小林 涼音

ことしの5月は、ま夏のような日が多かったように思います。寒いころよりも日はずいぶんのびたので、いろいろな活動ができたし、わくわくする一日をすごすことができました。

午前中、田んぼや竹やぶのある川ぞいの道をミニ・ハイキングしたあと、飯ごうでタケノコごはんにちょう戦したら、いがいにじょうずにできました。同時にもうそう竹を二つわりにして、流しソウメンもやりました。はじめての子もいたのでうまくソウメンをつかめずにふんとうしていましたが、すぐにじょうずに食べられるようになったようでした。

午後からは、アスレチック広場のある公園に行き、夕方まで思うぞんぶん遊び、なんだかとても夏のおいを感じた一日でした。

ことしは、団のキャンプのほかに地区のキャンポリーもある予定なので、いまからとても楽しみです。ボーイスカウトの活動は、やっぱり夏の野外活動がいちばん楽しいと思います。



冒険旅行を終えて

富士地区 富士第9団 ベンチャー隊 和田 葉瑠香

5月4日～6日の二泊三日で、隊の仲間3人で京都へ冒険旅行に行きました。

今回の活動は、現地での行動予定や移動手段、宿泊場所なども自分たちで調べ、計画したので、始まった当初は上手くいか不安でいっぱいでしたが、行程が進むにつれてだんだんと楽しくなり、帰宅した

ときには終わってしまったのが残念なくらい、充実した3日間でした。

旅行では、清水寺や伏見稲荷大社をはじめたくさんの寺院や神社を訪れましたが、どの場所も私たちが普段生活している場所とは少し空気が違い、時を越えて受け継がれる日本の歴史や伝統を肌で感じることができました。また、観光するだけではなく、道中で出会った人との交流も楽しかったです。今回宿泊したのはユースホステルだったので、オーナーの方におすすめの飲食店を教えてください、交流スペースで居合わせたカメラマニアの方に珍しいカメラで写真を撮って頂いたり、普通の旅行ではできない体験ができました。また、触れ合った人の中にはボーイスカウトのことを知っている人も何人かおり、嬉しさと共に、ボーイスカウトとして活動していることに誇りを感じました。

今回の旅行は、指導者の方や頼れる大人がいない中で、計画通りに進まなかったり、予想外のアクシデントが起こったりして、困ることもありました。その都度仲間と協力して乗り越え、無事に旅行を終えることができました。この活動で得た反省を、これからのスカウト活動に生かしていきたいと思えます。



指導者だより

地区合同野舎営に参加

清水地区 清水第 12 団 ボーイ隊隊長 出口 隆一

5月13・14日に、「清水地区のボーイスカウトが一堂に会し、日ごろ自隊では体験できないスカウトキャンプを楽しもう！」を目的とした清水地区合同野舎営（BSは野営）が実施されました。自隊スカウトの参加者はいませんが、私はBS隊のスタッフとして参加しました。

会場は、5月20日に県下でもっと早い鮎釣り解禁日を迎える興津川に隣接する、自然豊かな市営野営場です。初日は朝からの雨模様で、11時の集合時間の頃には大雨となり、興津川も増水し野営大丈夫？の状況でした。天気予報は午後から回復傾向で

明日は晴れの予報。そんな中、徐々に小降りとなり、天気予報を信じて設営開始の指示が出されました。今回の行事に当たっては、2回の指導者会議、現地下見、スカウト事前集会と万全を期しての開催でしたので、スカウト&指導者先ずは一安心。

2日目は予報通りの晴れで、メインプログラムはハイキング。昨日の雨でコースに危険が生じていないかスタッフ2名でコース確認に出かけました。滑りやすい登りの箇所でも通行可能。往復30分、朝食前のややハードな運動となりました。

6年生隊員が多く、スカウトにとってはややきつい野営だったと思いますが、隊運営隊長が見せてくれた班活動振り返りシートには、色々な体験・習得ができて良かったとの感想。

ハラハラする場面もありましたが、天気も回復し結果的には大成功。

古希を迎えましたが、スタッフとして少しは貢献できたかなと感じた合同野営でした。

冬季訓練（スキー）

三島地区 三島第5団 カブ隊デンリーダー 野口 千景

デンリーダーをやらせていただいて一年目、冬季訓練に初めて参加しました。

私の担当は初級コースの補助。スキー未経験のスカウト二名と慎重派のスカウト一名を見守る事でした。慎重派のスカウトはスキー経験者ということもありすぐ上手になりました。初心者二人は転んばかりでふもとまでなかなかたどり着けませんでした。時間が経つにつれ、寒さと疲れで外れたスキー板をつける事もままならない様子でしたが、団委員長や隊長はそれを優しく手助けし何度も滑らせていました。

その内初心者二人もだいぶ上手になり、ふもとまで一度も転ばずに来て止まる事ができるようになりました。その時のスカウトの真剣な表情を私は一生忘れないと思います。子供達もまたこの日の事を忘れないと思います。

初級コースに限らず、辛抱強くあたたかく丁寧にスカウト達を指導していた団委員長や隊長副長達を見て、子供に接する時大切な事は何なのかを学ばせていただいた気がします。ありがとうございました。



ボーイスカウト活動について思うこと

掛川・袋井地区 浅羽第 1 団 団委員長 川上 廣司

ボーイスカウト浅羽第 1 団は、平成 4 年 4 月 1 日に袋井第 3 団を分封して以来、今日まで活動してまいりました。その間、大勢の子供達が成人となり、現在社会で活躍しております。ボーイスカウト活動で学んだ精神は、きっと身につけて社会生活をする上で役立っていると思います。

私はボーイスカウト活動に携わって以来 25 年が経過しました。最初の頃は、ただ子供を隊長に預けて隊活動が終了する頃子供を迎えに行くだけでした。「これではいけない」と、思い 52 歳の時、ボーイ隊の隊長資格を取りに朝霧野外活動センターに行きました。資格を取りに来た人の内では 52 歳の方は私ともう 2 人いてあとは若い人ばかりでした。何とか 4 日間の過程を終了しました。その後は、ボーイ隊の副長として隊長を補佐し、ボーイ隊の活動をしてまいりました。

現在、団委員長として、団を運営発展させる立場にありますが、募集広告を出しても子供達が入団してこないことで悩んでおります。

子供達の心と体の成長にとってとても良い活動



なのに理解されないのはどうしたことだろうかと思うとともに、今迄は積極的に勧誘活動をするのではなく、親や子供達が来るのを待っていたような消極な態度ではなかったかと反省している次第です。

春はど〜こだ

浜松東地区 浜松第 15 団 ビーバー隊隊長 海野 成夫

3 月の終わりに団ハウスの周辺にて 5km の行程を散策しました。

今年の春は少し寒く、まだ、桜は咲いておらず、上着をはおって歩きました。途中でキムスやけんけんをしながら楽しく進みましたが、

後半疲れて、休み休み馬込川の土手をゆっくり歩いていると、きれいに咲いた水仙や黄色が鮮やかな菜の花が励してくれて、最後までみんなで歩くことができました。

終わりにこのハイキングが最後となるビッグビーバーに終了証と記念品を渡しました。



沼津第 19 回は小さなジャンボリー会場??

沼津地区 沼津第 19 団 団委員長 中山 淳

当団では長年年 2 回体験入隊を行っているため、地域の幼稚園、保育園、小学校ではチラシ配布も快く受けて下さり、数は少ないですが追加登録者があります。

そんな中スカウトの紹介で帰国子女が入団したことから、英語・日本語が飛び交うようになりました。そのスカウトは英語での教育を主としている学校に通学しているのですが、友達を誘い合いどんどん増えていきました。保護者も含めると 3~4 カ国の人がいます。その保護者の中にイギリスでスカウトとして活動していた人がいましたので、即研修所を勧め指導者になってもらいました。

スカウトの様子を見ていると、英語で話していたかと思うと振り返って日本語を話す。まさにバイリンガルなスカウトが多いのです。当然ながら、英語がわからないスカウトが多いですから「英語わからない!日本語で話してよ」となる場面もあります。キャンプファイヤーでのスタンツでもボーイ隊は英語の歌を歌ったりしています。

これからは大いに世界に羽ばたいて行ってほしいですし、国際社会の一員としてボーイスカウト活動に貢献してほしいと思っています。この環境を十分に生かし英語が話せるようになりたいものですが、大人はなかなかむずかしいですね。(笑)





おめでとう!! 42 名の仲間が友情章を授与されました。

「友情章」は、君の友だちに「スカウトになろうよ!」と言って、
友達がスカウトに入るともらえる章です。

記念品はネームプレートがもらえるよ。次は君が友達を紹介して「友情章」をゲットしよう!

平成29年6月度「友情章」顕彰者名簿

組織拡充委員会

氏 名	地区	所 属	氏 名	地区	所 属
田中 凜太郎	浜松東	浜松第6団 BVS	大森 太陽	静岡	静岡第27団 CS
内山 湊士郎	浜松東	浜松第6団 CS	金丸 環	静岡	静岡第22団 BS
枝元 宥樹	浜松東	浜松第6団 BVS	落合 彦磨	静岡	静岡第22団 CS
山崎 新	浜松東	浜松第6団 BVS	竹内 祐生	富士宮	富士宮第5団 BVS
小笠原 琉華	浜松	浜松第12団 BS	安田 悠芽	富士宮	富士宮第5団 CS
植田 英志	島田	御前崎第1団 CS	白鳥 匠	清水	清水第19団 BS
加藤 明歩	富士	富士第2団 BVS	岡村 吏人	清水	清水第19団 BS
三枝 雅之	富士	富士第11団 BVS	入月 龍輝	清水	清水第19団 BS
山田 雄太	富士	富士第11団 BVS	内藤 翔也	清水	清水第19団 BS
原田 煌己	富士	富士第11団 CS	野寄 航佑	清水	清水第19団 CS
井口 寛之	富士	富士第11団 CS	川井 彩羽	浜松	浜松第12団 BS
山田 航平	富士	富士第11団 CS	小宮山 凌空	御殿場小	小山第4団 CS
廣野 まいあ	御殿場小	御殿場第6団 CS	渡辺 蒼太	御殿場小	小山第4団 CS
浅田 伶花	三島	三島第5団 BVS	田村 菜月	沼津	沼津第4団 CS
花村 星良	浜松東	浜松第15団 BVS	高橋 優	沼津	沼津第4団 CS
鈴木 絢大	浜松東	浜松第15団 BVS	吉村 莉乃彩	島田	島田第2団 CS
松本 悠成	富士	富士第8団 BVS	杉村 風花	島田	島田第2団 BVS
藤田 虎太郎	富士	富士第8団 BVS	桜井 虹珀	島田	島田第2団 BVS
池谷 仁美	静岡	静岡第27団 BS	林 じゅら	島田	島田第2団 BVS
谷本 泰空	静岡	静岡第27団 CS	松本 琉生	島田	島田第2団 BVS
渡辺 快	静岡	静岡第27団 CS	佐藤 惺歩	富士	富士第14団 CS

マスコミコーナー

マスコミ(新聞・雑誌)に掲載された“スカウト活動の記事”を紹介します。

第三種郵便物認可 / の翌日発行 / H19 頁

カーブミラー清掃や ごみ拾いなどに汗流し

第22回 共同募金活動も

発団40周年を迎える日本ボーイスカウト富



カーブミラーを磨くボーイ隊員

土宮第22団(土井守団)委員長(約60人)は2日、富士宮市立富士見小学校周辺道路でカーブミラー清掃やごみ拾いを実施したほか、マックスバリュ小



世界スカウト環境バッジを渡されるカブ隊員

環境省の世界スカウト環境バッジが渡された。ボーイ隊員たちは、新入学児童が安全に登校できるように、15カ所のカーブミラーを脚立に乗りながら磨き、車や人の往来を確認しやすくするようにした。

16日には、ピーパー隊員が富士山本宮浅間大社で緑の羽根共同募金活動を行う。

Ⓢ 岳南朝日新聞 平成29年4月4日(火) 掲載

2017年(平成29年) 3月17日(金曜日) (2)

がんばってます

市内ハイクと餅つきを楽しみ ボーイスカウト第5団ピーパー隊



市内ハイクに続いて餅つきを楽しみ

富士宮市のボーイスカウト第5団(天村敏弘団)委員長(ピーパー隊)は11日、市内ハイクと餅つき」の活動を行い、スカウト13人と保護者や指導者、などがハイキングと市民館での餅つきを楽しんだ。

天候に恵まれた同日、スカウトたちは市内ハイキングを行い、保護者、委員、携きあがった餅は、みながぎょう3月11日は「東日本大震災」が起き



第5団ピーパー隊が餅つきに笑顔ひろげて記念写真

てから6年目にあたり、多くの人が津波で亡くなられました。そのためや保護者、指導スタッフと共に「お別れハイキング」を行いました。

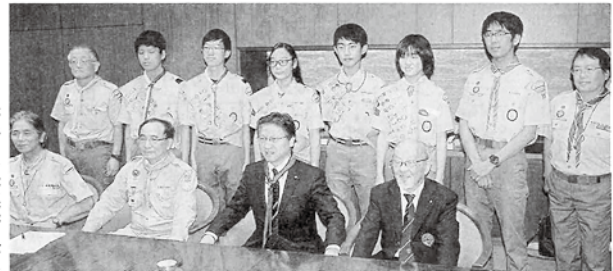
同日では25日に野中神社でボーイ隊の「誓いの式」、26日に西公民館で「入団・上進式」を催す。

また、同日には第5団カブ隊(宮月光博隊長)が白尾山公園でスカウトや保護者、指導スタッフと共に行いました。

東日本大震災慰霊の半旗の説明を受けるスカウトたち

Ⓢ 岳陽新聞 平成29年3月17日(金) 掲載

「菊スカウト章」6生徒が受章
静岡市長に喜び報告



菊スカウト章を受章した6人の中学生（後列中）＝静岡市役所で

日本ボーイスカウト連盟静岡地区と清水地区の団に所属する中学生6人が、最高位となる「菊スカウト章」を受章した。六人は、静岡地区の藤奈々世さんと清水地区の藤田侑希さん。連盟が認める「菊スカウト章」は進級記録の一つ。知識や技能、野外経験、奉仕活動などで極めて優秀と評価された。

田辺市長は「十年後を思い描き、さらに高みを目指してほしい」と話した。（飯田時生）

中日新聞・静岡版
平成29年3月22日(水) 掲載

伊豆日日新聞

平成29年（2017年）4月12日（水曜日） 日刊

長岡北小に河津桜3本
BS大仁1回 市内6小の植樹完了



河津桜の植樹に取り組み隊員たち
＝伊豆の国市立長岡北小

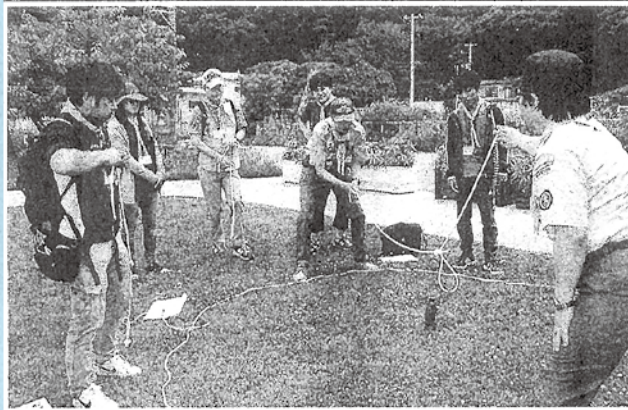
伊豆の国市のボーイスカウト大仁1回（土山惟之助委員長）は9日、市立長岡北小で緑の募金の一部を活用し、河津桜の記念植樹を

はじめ3団体が寄贈した枝垂れ桜も3本植えられていた。市は枝垂れ桜へのスポットライトと足元灯を通常で点灯しており、これから03（45年）にゆかりのある同公園は、修善寺温泉第1駐車場近く、初夏には「ぼたの夕べ」が開かれる。

伊豆日日新聞
平成29年4月12日(水) 掲載

伊豆新聞 平成29年（2017年）5月31日（水曜日）(2)

ロープワークを体験
48年ぶり 下田でBS講習会



ロープワークを体験する参加者ら＝下田市三丁目のベリー上陸記念公園

日本ボーイスカウト連盟と県教育委員会主催の「ボーイスカウト講習会」が28日、48年ぶりに下田市内で開催された。市内を中心に18～70歳の15人が参加し、教育方法の学習が減少し存続が危ぶまれている賀茂地区のボーイスカウト活動を盛り上げる狙いで、今回下田が開催地になった。参加者は、市立中央公民館でスカウト運動の歴史、年齢別部門の活動内容などを学んだ。野外体験では、ペリロードを歩きながら危険物を除去するロープワークの注意力和観察力の訓練などを行った。一丁目の主婦・稲巻優子さん（40）は「冒険もぜひ体験させたい。世界が広がり、将来の選択肢も増えると思う」と感想を語った。

伊豆新聞
平成29年5月31日(水) 掲載

伊豆の国市のボーイスカウト大仁1回（土山惟之助委員長）は9日、市立長岡北小で緑の募金の一部を活用し、河津桜の記念植樹を

伊豆の国市のボーイスカウト大仁1回（土山惟之助委員長）は9日、市立長岡北小で緑の募金の一部を活用し、河津桜の記念植樹を

おしらせコーナー

団委員研修所 静岡第25期

- 期 間:平成29年9月16日(土)~18日(月) 2泊3日 舎営
- 場 所:国立中央青少年交流の家(御殿場市)
- 申込み:8月30日(土)まで

ウッドバッジ研修所スカウトコース 静岡第3期

- 期 間:平成29年10月6日(金)~9日(月) 3泊4日 テント泊
- 場 所:ボーイスカウト浜松太田山野営場
- 申込み:9月10日(日)まで

ウッドバッジ研修所課程別研修 静岡第3回

- 期 間:平成29年10月22日(日) 1日型
- 場 所:静岡県青少年会館
- 申込み:10月12日(木)まで

ボーイスカウトへのお問い合わせ・入隊希望は

ボーイスカウト静岡県連盟事務局 (☎ 054-255-6185) まで
ホームページもご覧ください。 <http://bs-shizuoka.com>

編集日記

「ボーイスカウト活動の魅力は『楽しいから!』」。県連総会の懇親会で村松新理事長は簡潔明瞭にスピーチされました。広報の役割はまさにその『楽しさ』を伝えていくことにあると思います。

今後とも皆さまのご支援・ご協力よろしく申し上げます。

広報「たちばな」編集部 杉山文朗

広 報 “たちばな” 2019 年 7 月

発 行 所 一般社団法人 日本ボーイスカウト静岡県連盟
〒420-0068 静岡県静岡市葵区田町 1-70-1
県青少年会館内
TEL054-255-6185 FAX054-255-6186
<http://bs-shizuoka.com>

編集責任者 組織拡充・広報委員長 土山 惟之

印 刷 三富印刷株式会社
静岡県浜松市東区上新屋町 30-1 TEL053-467-4678

発行部数 5,285 部